

令和4年度「仙台市市民意識調査」報告書 (概要版)

令和4年8月
まちづくり政策局

1. 調査概要

調査対象：仙台市に居住する満18歳以上の男女6,000人
 調査方法：無記名式の質問調査（郵送による配布・WEBまたは郵送による回収）
 調査期間：令和4年4月25日～令和4年5月24日
 調査項目：現状の評価（8分野）、施策の評価（9分野26項目）、力を入れていくべき施策、仙台市の住みやすさ など
 有効回収数(率)：3,101票（51.9%）

2. 調査結果

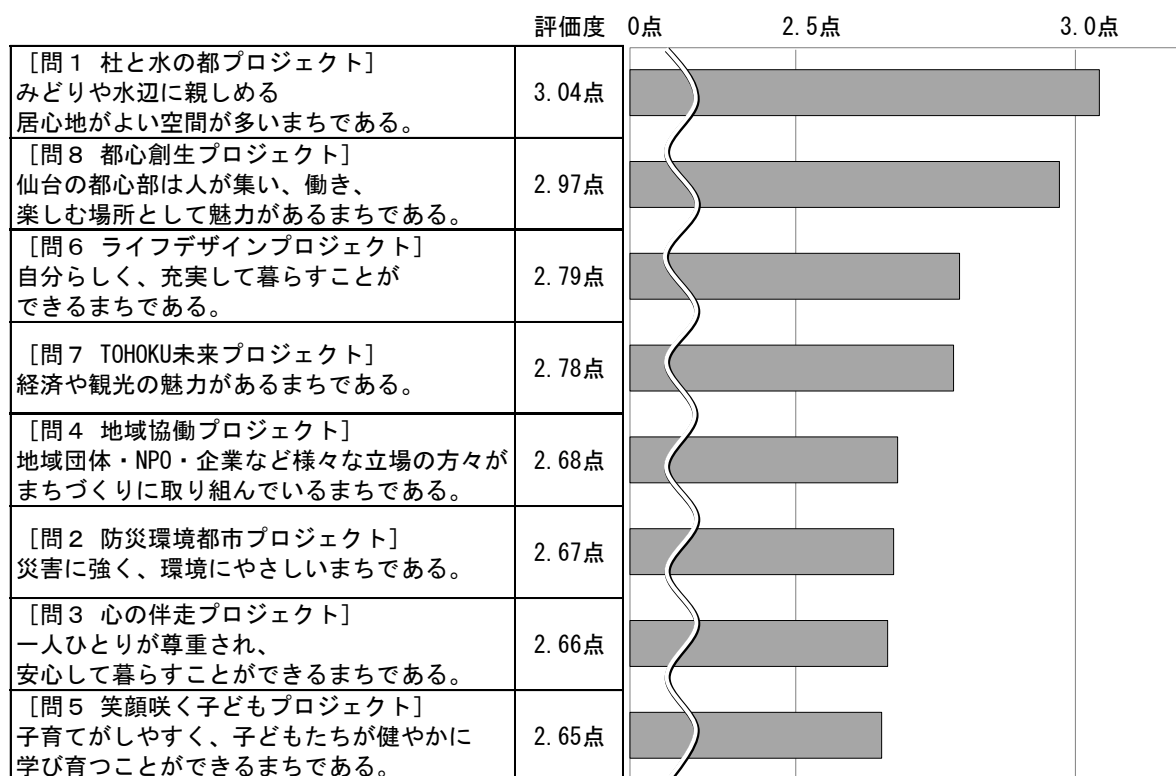
(1) 仙台市の現状と施策の評価

評価についての回答を点数化し、その平均点（4点満点）を評価度としている（「わからない」「無回答他」は母数から除いている）。

①現状の評価

〔問1 杜と水の都プロジェクト〕の「みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。」が3.04点と最も高く、〔問8 都心創生プロジェクト〕の「仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。」が2.97点と、2番目に高い評価度となっている。

一方、〔問4 地域協働プロジェクト〕の「地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。」、〔問2 防災環境都市プロジェクト〕の「災害に強く、環境にやさしいまちである。」、〔問3 心の伴走プロジェクト〕の「一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。」、〔問5 笑顔咲く子どもプロジェクト〕の「子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。」は、2.60点台と、相対的に低い評価度となっている。



②取り組んでいる施策の評価

取り組んでいる施策の評価度の上位5位は以下のとおりで、「1-② まちにみどりを広げる百年の杜づくり」が3.07点と最も高くなっている。

上位5位		評価度	0点	2.5点	3.0点
1-②	まちにみどりを広げる百年の杜づくり	3.07点			
8-②	居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり	2.96点			
2-①	防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備	2.92点			
6-①	文化芸術や歴史などに親しむことができる環境づくり	2.92点			
7-③	訪れる人を増やす取り組み	2.90点			

一方、下位5位は以下のとおりで、「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が2.33点と最も低くなっている。

下位5位		評価度	0点	2.5点	3.0点
6-②	一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加の機会づくり	2.58点			
2-④	公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり	2.56点			
7-①	あらゆる事業者が新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり	2.56点			
3-②	支えあいながら暮らすことができる環境づくり	2.50点			
3-③	子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり	2.33点			

③今後特に力を入れていくべきと思う施策

今後特に力を入れていくべきと思うと回答があった施策を見ると、「2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」が52.8%と最も高く、「2-① 防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備」が51.7%、「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が51.2%と続いている。

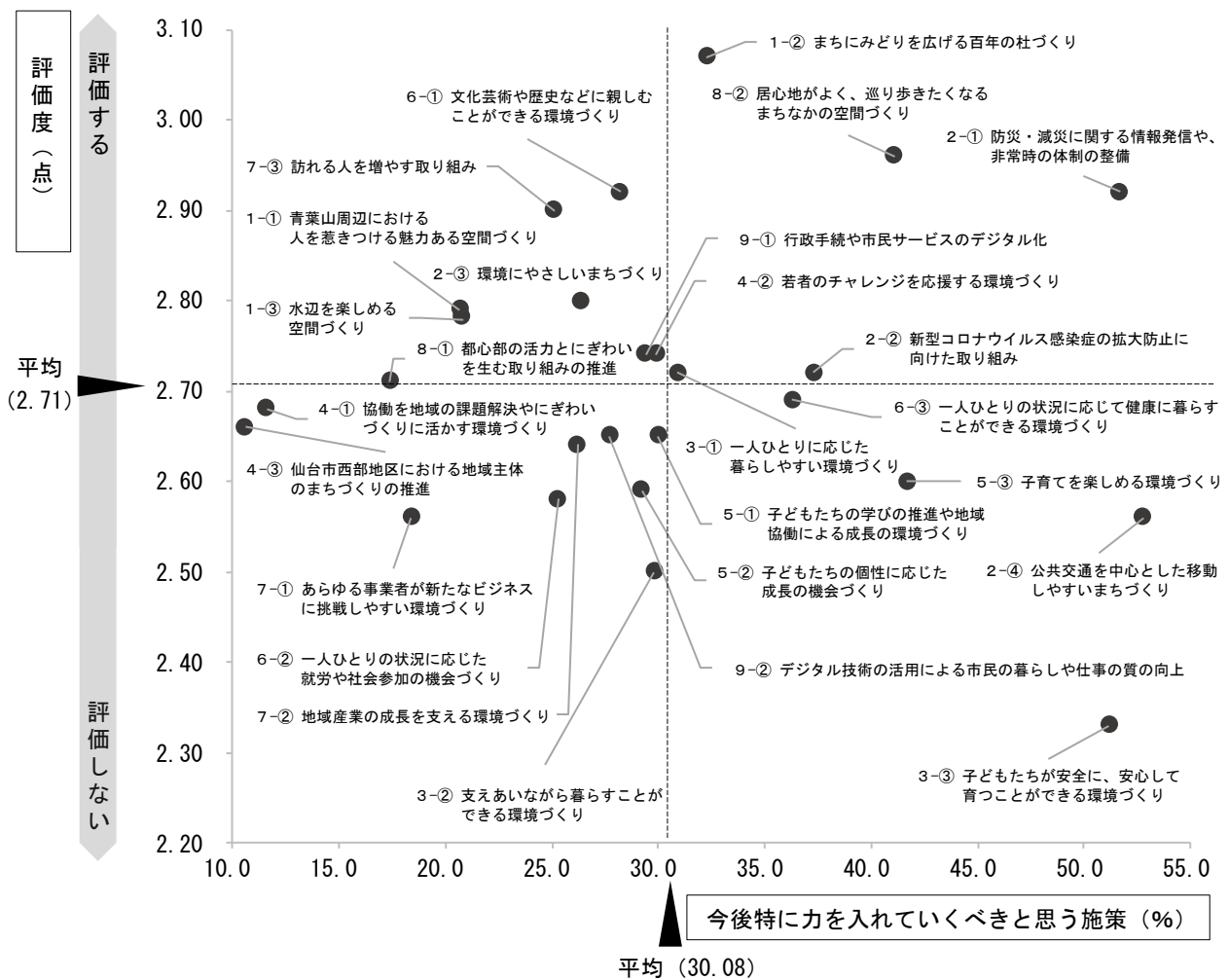
上位10位		0%	20%	40%	60%
2-④	公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり				52.8
2-①	防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備				51.7
3-③	子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり				51.2
5-③	子育てを楽しめる環境づくり				41.7
8-②	居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり				41.1
2-②	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み				37.3
6-③	一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり				36.3
1-②	まちにみどりを広げる百年の杜づくり				32.3
3-①	一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり				30.9
5-①	子どもたちの学びの推進や地域協働による成長の環境づくり				30.0

④施策に対する期待×現状評価マップ

下図は、横軸を「今後特に力を入れていくべきと思う施策（問 10）」、縦軸を「施策の評価度（問 1～9）」として各施策をマッピングしたものである。

今後の取り組みに対する期待が高く、かつ現状評価度が低い施策としては「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が挙げられる。同様に、「2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」や「5-③ 子育てを楽しめる環境づくり」も平均より現状評価度が低く、期待度は高い。これらは、特に力を入れて取り組んでいくべき施策と言える。

また、今後の取り組みに対する期待が高く、かつ現状評価度も高い施策として、「2-① 防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備」や「8-② 居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり」が挙げられ、これらは、引き続き取り組みを進めていくべき施策と言える。



(2) 仙台市の住みやすさなど

①仙台市の住みやすさ「住みやすい+どちらかといえば住みやすい」(以下「住みやすい(計)」)

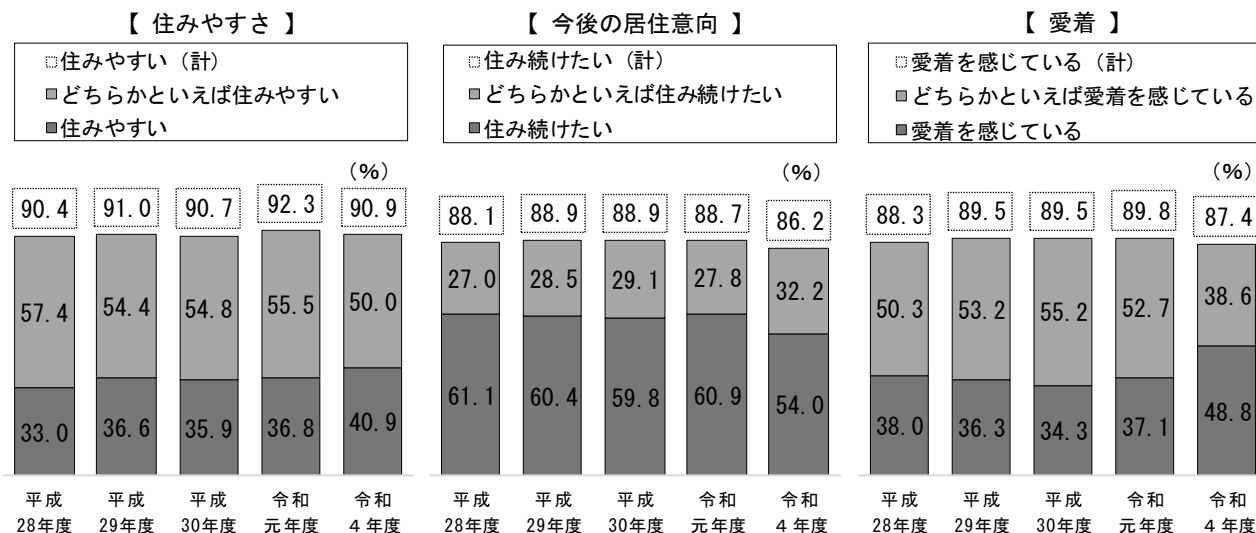
「住みやすい(計)」の割合は90.9%と、引き続き高い水準である。

②今後の仙台市への居住意向「住み続けたい+どちらかといえば住み続けたい」(以下「住み続けたい(計)」)

「住み続けたい(計)」の割合は86.2%と、引き続き高い水準である。

③仙台市への愛着「愛着を感じている+どちらかといえば愛着を感じている」(以下「愛着を感じている(計)」)

「愛着を感じている(計)」の割合は87.4%と、引き続き高い水準である。



※前回以前の調査とは一部選択肢が異なっているため、類似の選択肢に読み替えを行っている。

(3) 自由意見の内容

自由意見の内容を見ると、市政に関する意見が1,860件寄せられ、それらを各プロジェクトで分類した結果は以下のとおりである。

中分類	件数
1 杜と水の都プロジェクト(みどりや水辺に親しめる空間づくり)	177件
2 防災環境都市プロジェクト(災害に強く、環境にやさしいまちづくり)	330件
3 心の伴走プロジェクト(あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり)	170件
4 地域協働プロジェクト(地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり)	73件
5 笑顔咲く子どもプロジェクト(子育て支援や教育環境の充実)	157件
6 ライフデザインプロジェクト(自分らしい生き方が実現できる環境づくり)	119件
7 TOHOKU未来プロジェクト(経済や観光の魅力づくり)	159件
8 都心創生プロジェクト(人が集う、魅力ある都心づくり)	127件
9 デジタル化推進	50件
10 その他(市政関連)	498件
意見総数	1,860件

令和4年度「仙台市市民意識調査」報告書(概要版)

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 TEL 022-214-1245